

●Hondaセレクトابل トルク コントロール(HSTC)※

RC213V-Sと同じHondaセレクトابل トルク コントロール(HSTC)を搭載。介入レベルはライダーの好みに応じて9段階の切り替えとOFFが可能で、レベル1から9の順に、トルクコントロール介入度が大きくなり車体挙動が穏やかになります。

このHondaセレクトابل トルク コントロール(HSTC)により、主に下記の効果が得られます。

※ Hondaセレクトابل トルク コントロールはスリップをなくすためのシステムではありません。Hondaセレクトابل トルク コントロールはあくまでもライダーのアクセル操作を補助するシステムです。したがってHondaセレクトابل トルク コントロールを装備していない車両と同様に、無理な運転までは対応できません。

後輪スリップの抑制

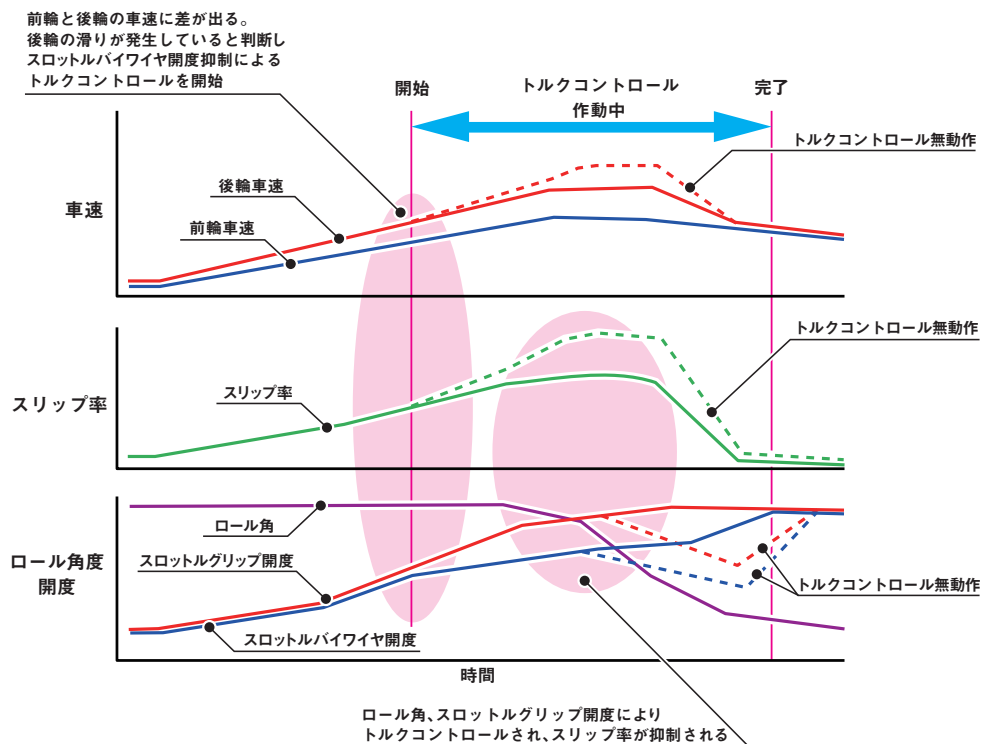
コーナリング時や加速時の後輪スリップを抑制します。車輪速センサーからの前後輪回転速度比率よりECUが後輪スリップ率を算出、走行中のスリップ率増加によりエンジントルクの抑制が必要と判断した場合、スロットルバルブ開度をコントロールすることでスリップを抑制させます。

旋回時のように車体姿勢が直進と異なる場合は、車体ロール角に基づき※スリップをより緩和する方向にトルクをコントロール。また、ライダーがスロットルを大きく開けて加速したい時は、グリップ開度情報に基づきスリップを許容する方向にトルクコントロールを行います。

これらにより、ライダーのイメージに沿いつつ、安心感あるライディングに寄与しています。

※ 車体ロール角の検出に関しては、別項IMU参照。

■後輪スリップの制御イメージ図



ウイリー挙動の緩和

加速時のウイリーを緩和します。前後輪部にそれぞれ配置した車輪速センサーの信号から、ウイリー中に起こるフロントタイヤの減速とリアタイヤの加速を検知した場合、ECUはフロントタイヤが接地し、加速状態に転じるまでスロットルバルブ開度を下げてトルクを減衰することでウイリーを緩和させます。